

マスコミを活用した日本の地域の魅力発信 ～横浜市での韓国 SBS 放送番組撮影～

ソウル事務所

1 マスコミを活用した日本の地域の魅力発信

(1) 事業紹介

経済交流支援の新しい取り組みとして、韓国のマスコミ（テレビ・雑誌等）から日本取材・撮影協力に関する依頼を受け、クレアソウルが広報効果の高いものを選定して、自治体とのマッチング、取材・撮影協力を行い、日本の地域の魅力を韓国で発信する事業を 2010 年度にスタートさせました。

これまでの実績（2010 年 5 月より 2011 年 9 月末現在まで）

撮影時期	媒体	自治体名	撮影団
2010.5	THE NORTH FACE	富山県	15 名
2010.6	KBS(番組：생생정보통生情報通)	青森県・熊本県・鹿児島県	2 名
2010.10	Sure (雑誌)	高知県	4 名
2010.10	SBS(番組：좋은아침良い朝)	青森県	3 名
2010.11	SBS(番組：좋은아침良い朝)	鹿児島県	6 名
2010.12	THE NORTH FACE	沖縄県	18 名
2011.7	SBS(番組：좋은아침良い朝)	横浜市	8 名

詳しくは、「クレアソウル 2010 NEWS Today」Vol.3、Vol.4 をご覧ください。
クレアソウルホームページにも掲載中です (<http://www.clair.or.kr/>)。

(2) 業務の内容、役割分担

<クレアソウル事務所>

- 日本の各地域の情報提供、番組等のコンセプトにあった取材・撮影先の選定
- 自治体と制作会社間との調整（取材同行を含む）
- 編集時等の翻訳、通訳

<自治体>

- 取材・撮影地の推薦及び情報提供、撮影先への協力依頼
- 取材・撮影時の協力（案内、通訳）
- 取材・撮影団の滞在費負担（宿泊費、移動費、食費、施設利用料等の日本国内で必要な経費）

(3) 効果

記事掲載や番組放送で日本の観光地等を紹介することで、韓国の一般消費者に対して比較的少ない費用で大きな広報効果を得ることができます。番組ホームページなどインターネットを通じた知名度の向上、誘客効果も期待されます。

2 横浜市での取材<SBS (좋은아침 : 良い朝)>

韓国のテレビ放送局「SBS」のトークショーにおいて放送する韓国人芸能人の旅行記の撮影協力を行いました。

(1) 番組概要

- ・ 番組名 : 좋은아침 (良い朝)
- ・ 放送時間 : 月曜日～金曜日
9 : 30～10 : 40 (旅行記は 30～40 分程度)
- ・ 番組内容 : 1996 年から 15 年間放送されている朝の代表的バラエティトークショー。



<撮影風景>

右からキム・シニョン、シム・ジナ、
PD 兼カメラマン

(2) 横浜市での取材内容

- ・ 撮影日程 : 2011 年 7 月 22 日(金)～24 日(日)
- ・ 撮影団 : キム・シニョン、シム・ジナ他 4 名、
マネージャー、PD 兼カメラマン
- ※PD : プロデューサー兼ディレクター
- ・ 放送日 : 2011 年 8 月 9 日 (火)



三溪園にて抹茶体験



マリインタワーにてロケ

<内容>デビュー当時から親友でコメディアン of 二人。

横浜の三溪園や横浜・八景島シーパラダイス、中華街、赤レンガ倉庫などを舞台に楽しい旅行が始まる。

その中で、もうすぐ結婚するシム・ジナ氏への模擬結婚式をキム・シニョン氏が計画する。

ケーキを買ってマリインタワーのチャペルに行きセッティング。シム・ジナ氏をマリインタワー前に呼び出して、撮影を行っている最中に、キム・シニョン氏の合図で、マリインタワーの照明がレインボーに。結婚祝いにタワーをローソクに見立てたキャンドルサービスをプレゼント。

その後、展望台より綺麗な夜景を見た後、収録はそこで終了と思いきや、先ほどセッティングしたチャペルへ。

チャペルのドアを開けるとそこにはヴァージンロードが。

ヴァージンロードを歩き、買ってきたケーキでささやかな結婚のお祝いが始まった。デビュー当時の話や、辛かった思い出などを話し出演者が泣きだす場面も・・・。



チャペルにて思わず泣き出す・・・

(3) 所感

この番組は、韓国の芸能人などの有名人が日常を離れて旅行へ行き、様々な名所・店を巡りながら、自分の近況を語ったり、はたまた人生に想いを馳せる構成となっています。特に、旅先での「サプライズ」や「対決」「体験」が重要な要素であり、視聴者はその舞台となったスポットの詳しい情報を番組ホームページから入手して、興味をかきたてるという仕組みです。

このように、マスコミを利用した PR は、その番組等の意図を十分に理解した上で、自治体が PR したい場所やイベント、お店などを上手く番組制作側にアピールすることが重要なポイントといえます。

最後に今回協力頂いた関係者の皆様、特に横浜市役所の方々には、いくつもの無理難題を解決して頂き、感動的な映像を撮ることができました。番組の評判やホームページへのアクセスも上々であり、PR できたと考えています。この場をお借りして感謝申し上げます。

(小椋所長補佐 宮崎市派遣)

CLAIR